

要求水準 1

施設及び設備の維持管理を適切に行い、安全かつ快適な利用環境を提供する

評価項目

- (1) 施設及び設備の保守点検等を適切に行うとともに、安全管理を適切に行い、故障や事故のない運営を行う。
- ・点検、修繕の実績
 - ・業務委託の状況
- (2) 災害発生時における利用者の避難その他の応急対策、及び津波避難ビルとして一時的に避難者を受け入れることについてあらかじめ検討し、必要な対策を講じる。
- ・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策
 - ・マニュアルの作成
 - ・職員研修

状況説明

- ・施設および設備の保守点検等は、法定点検回数を遵守し適切に行った。
- ・利用者の怪我等発生しないよう適宜館内を巡回し管理した。
- ・年2回の避難誘導訓練を行い、消防計画に沿った避難誘導をした後、訓練後の反省点、改善点などを全員に周知および理解を図った。
- ・地震時の津波避難ビルに加えて、風水害時の一時避難所ともなったため、台風接近時や暴風雨警報時の連絡態勢を全スタッフで再確認し、高知市地域防災推進課とも有事の際の行動確認を行った。

評価	理由
B	・適切な施設及び設備の維持管理を行い、安全かつ快適な利用環境の提供に努めていることが認められる。

要求水準 2

利用者の満足度を高める運営により、施設利用の促進を図る

評価項目

- (1) 文化団体等が自ら行う音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸その他の芸術及び芸能の公演・発表や練習の場として、またその他の文化活動の日常の活動拠点として利用しやすい運営を行い、県民の芸術文化活動の拠点施設としての利用を促進する。
- (2) 民間興行による公演、各種団体の会議その他の催し物の用に供する施設として、主催者が希望する施設の利用形態に応じて、利用しやすい環境とサービスを提供することにより、施設利用率の向上に努める。
- (3) 利用者のニーズや評価等に関する調査・分析を行い、その結果を生かして、施設の機能強化やサービス改善に努める。

状況説明

- ・要望の多かった舞台用ハンガーラックおよび姿見、楽屋用のキャスター付きパーテーションをそれぞれ2セット購入した。
- ・セキュリティー上パソコンをネット回線に繋がっていないスタッフが電話をとった場合に備えて、Wifi 接続タブレットを2台購入し、全てのスタッフが問い合わせを受けても即座に回答できる態勢をとっている。
- ・大型車両を何台も要する公演が両ホール同時に入ることも度々あるが、荷下ろし時間調整などノウハウにより混乱なく運営できている。
- ・ホームページのデザインを一新し、「目的情報に到達しやすい」を基本に構築した。またスマートフォンやタブレットの画面サイズに合わせてレイアウトが自動的に切り替わる構造とした。
- ・施設の貸出業務では、主催者側の各種要望に対して、受け入れ不可能な要望についても、代案を提案するなど、臨機応変で不快感を与えない接客を心掛けた。
- ・県外から初めて多目的室を利用する方々に調査すると「ホームページを見て」の回答がやはり多く、検索エンジンの上位表示につながるキーワードをさらに仕込んだ。
- ・来場者に対し記入用鉛筆を添えてアンケート調査を行い、公演情報収集先、来場手段、料金設定、来場動機、スタッフ態度、公演希望ジャンルなどを調査分析した。
- ・アンケートを分析した結果、情報収集ツールとして親子連れはテレビ、高齢者は新聞と今年度も顕著に違いが表れた。今後もこのデータをもとに、公演内容に合わせたターゲットにしぼることで、より効果的な告知展開が可能となり、「公演見逃し」を減らしていきたい。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の文化芸術の拠点施設として、利用者の立場に立ち、快適な環境とサービスを努めるとともに、利用促進のための情報発信等を行うなど利用向上に努めていることが認められる。 ・来場者、来館者に分けてアンケートを行い、結果を更なるサービス改善などに生かすことに努めていることが認められる。

要求水準 3

質の高い芸術文化公演の企画・実施により、県民に優れた芸術鑑賞の機会を提供する

評価項目

- (1) 地域の芸術文化の広域拠点施設として、大ホール及び小ホールそれぞれの規模にふさわしい音楽や舞台芸術などの公演を自主的に企画し、実施する。
- (2) 県民の多種多様な鑑賞ニーズに応えるため、幅広いジャンルから上質な作品をバランスよく上演する。

状況説明

高知県の芸術文化の拠点施設として、大小ホールそれぞれの規模・構造に見合った公演を企画し、老若男女・親子連れなど幅広い年代のニーズに応える質の高い芸術鑑賞の機会を提供した。

自主事業の本数は、事業計画書より6本増の26本。入場者数は26本合計で19,435人と事業計画書の目標人数16,300人に対し118.7%となり、前年比715人増となった。

<自主事業>

- ・オーケストラ:「オーケストラによるドリームコンサート～ジブリの思い出がいっぱい～」
(大ホール)(1500人)
「森山良子withローマ・イタリア管弦楽団」(大ホール)(944人)
「県民が歌う第九演奏会」(大ホール)(1340人)
「中川晃教シンフォニックコンサート」(大ホール)(221人)
「オーケストラで歌う青春ポップスコンサート」(大ホール)(1472人)
- ・映画:「シネマ歌舞伎 刺青奇偶(レズミョウハン)」(小ホール)(481人※2回公演)
「県文シネマ日和 Vol.1ナショナルシアターライブ『オーディエンス』」(小ホール)(170人)
「県文シネマ日和 Vol.2ナショナルシアターライブ『夜中に犬に起こった奇妙な事件』」
(小ホール)(120人)
「県文シネマ日和 Vol.3 『お嬢さん』」(小ホール)(200人)
「県民が選ぶ映画ベストテン 上映会」(小ホール)(549人)
- ・音楽劇:「正しい数の数え方」(小ホール)(475人※2回公演)
- ・器楽吹奏楽声楽:「第41回高知県新人演奏会」(小ホール)(150人)
- ・公開録画:「平成29年度全国放送公開番組『NHKのど自慢』」(大ホール)(1643人※参加者含む)
- ・演芸:「WAHAHA本舗全体公演『ラスト3～最終伝説～』」(大ホール)(1391人)
- ・オーディション:パフォーマンス朗読劇「不思議の国のアリスとロボット」出演者オーディション
(大ホール)(30人)
- ・ステージショー:「恐竜どうぶつ園～ティラノサウルスがやってくる～」
(大ホール)(1955人※2回公演)
- ・歌謡ショー:「東京大衆歌謡楽団 高知コンサート」(大ホール)(984人)
- ・器楽:「奥田弦 ジャズワールド」(小ホール)(362人)
「ファミリーコンサート『音楽のおくりもの』」(小ホール)(637人)
「Revサクソフオーンカルテット」(小ホール)(449人)
- ・バレエ:「キエフ・クラシック・バレエ『チャイコフスキー夢の3大バレエ』」(大ホール)(1391人)
- ・演劇:「ヨーロッパ企画『出てこようしてるトロンブルイユ』高知公演」(小ホール)(422人)
「パフォーマンス朗読劇『不思議の国のアリスとロボット』」(小ホール)(348人)
「続・時をかける少女」(大ホール)(915人)
- ・邦楽:「吉田兄弟コンサート」(大ホール)(850人)
- ・軽音楽:「Imagine2020@高知コンサート」(小ホール)(391人)

評価	理由
A	大小ホールそれぞれの規模にふさわしい質の高い芸術文化公演が企画・実施され、また、アンケート分析による年代のニーズに見合う告知展開を行うことにより、県民に優れた芸術の鑑賞機会を数多く提供したと認められる。

要求水準 4

地域の創造力の向上に向けて、芸術文化を担う人材を育成する

評価項目

- (1) 自主企画により上演される作品等をテーマや素材にして、芸術文化への関心を高め、理解を深めていく事業を行い、芸術文化振興の担い手となる観客を育成するよう努める。
- (2) 学校その他の教育機関で、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸その他の芸術及び芸能の実演又は舞台設備、舞台音響、舞台照明等の効果的な運用操作などの舞台芸術に関する活動を行っている児童生徒を対象に、講習会の開催や発表機会の提供等を行い、次代の芸術文化を担う人材を育成するよう努める。
- (3) 指定管理者の自主事業として運営されているジュニアオーケストラの活動を継続し、芸術文化を通して青少年の健全育成を図るとともに、育成のための支援体制を充実させることにより、オーケストラとしてのレベルアップに努める。

状況説明

- ・自主企画入場者数は 19,435 人と事業計画書の目標人数 16,300 人に対し 118.7%となり、前年比 715 人増となった。
- ・パフォーマンス朗読劇『不思議の国のアリスとロボット』の出演者を県民から募集し、朗読、ダンス、パントマイムなど様々なジャンルの 16 人が本番日まで練習を重ね、当日はパフォーマー・ロボットのぞみと共にステージを盛り上げた。
- ・ファミリーコンサート『音楽のおくりもの』は、東京藝大卒業の管楽器演奏家たちと共に共演する「笛(リコーダー)の音楽隊」を小学 3 年生以上の県民から募集。子供から大人まで 36 人の応募があり、個々の練習に加えて合奏練習を 4 回重ね本番に挑んだ。
- ・『県民が歌う第九演奏会』では、高知新聞告知で合唱参加者を県民から募集し、練習を重ねた。本番は総勢 250 人の演奏となり鑑賞者も 1300 人を超えた。
- ・『Imagine2020@高知コンサート』関連イベントとしてバンドメンバーによる楽器手作りワークショップを開催し、自ら作った楽器で高知城ホールでミニコンサートを行った。そのうちの 3 組が本番コンサートにも参加。日本ダウン症協会高知小鳩会、スペシャルオリンピックス高知とも協力し、多様性と社会的包摂の実現を目指した。
- ・『奥田弦ジャズワールド』のキャンペーンで来高した奥田弦が取材の合間に芸術学園幼稚園でミニコンサートを実施した。
- ・音楽ユニット「Klingel ton」によるアウトリーチ公演を児童養護施設「愛仁園」で開催し、施設の子供たちにクラシック、ジブリ、ディズニーの名曲を披露した。
- ・高知県高等学校演劇部夏季舞台技術講習を今年度も開催した。
 - *プロの劇団員による演劇表現と県民文化ホール技術職員による舞台技術の講義
 - *参加者をチーム分けし、チームごとに台本の無いエチュード形式の芝居を作り上げる
- ・土佐町農村環境改善センターホールでジュニアオーケストラが高知大学とコラボした出張コンサートを開催した。曲目にはクラシックに加えクリスマス曲も取り入れた。
- ・28 年度 1 月から新聞・テレビ・ラジオでジュニアオーケストラ団員募集告知を行い、テレビ・ラジオの告知は現在も継続し、入団者も増え現在 30 人。16 分の 1 バイオリンや 4 分の 1、8 分の 1 のチェロも追加購入し、団員の体格に合わせている。合奏練習には参加できない初心者組と合奏組が互いに演奏し合う発表会・お茶会を行い、モチベーションアップと団員間交流を図った。

評価	理由
A	・自主事業企画において、来場者が昨年度 18,720 人から 19,345 人に増え、創作意欲やプロの演奏を聴く機会等を提供し、芸術文化振興の担い手となる観客の育成に努めたと認められる。

	<ul style="list-style-type: none">・県民参加型の自主事業を実施し、芸術文化に関心を深め、芸術文化振興の担い手を育成したと認められる。・高等学校演劇夏季舞台技術講習等により、次代の芸術文化を担う人材の育成に努めたと認められる。・ジュニアオーケストラの体制強化に努めるとともに、アウトリーチ演奏会を行う等、青少年の健全育成とレベルアップに努めたことが認められる。
--	--

要求水準 5

関係機関等との連携・協力により、芸術文化の振興を図る

評価項目

- (1) 芸術文化団体が企画する県民参加型の事業や、鑑賞団体が企画する一般の観客を対象とした公演を共催で実施するなど、県民の自主的な芸術文化の振興活動と連携・協力することにより、県民の芸術文化活動への参加の促進や、県民が優れた公演等を鑑賞する機会の拡大に努める。
- (2) 学校その他の教育機関及び芸術文化教育の推進を目的とする団体等との連携・協力により、児童生徒に対して質の高い芸術文化に触れる機会を提供する。
- (3) 県内の他のホールの職員等を対象に、ホールの企画運営や舞台技術に関する実践的な知識及び技術を習得するための研修の機会や、共同開催の公演を実施することによる企画運営ノウハウの移転の機会を設けることによって、地域のホール運営の専門性向上に努める。

状況説明

- ・2008年から2012年にかけて「ショパン国際コンクールinアジア」で5年連続1位に輝いた「牛田智大ピアノ・リサイタル」を共催した。
- ・「高知のたから音楽祭」の名称で過去3回開催された、プロアマ問わない公募型で高知在住の演奏家が集い演奏する音楽イベント。今回から「高知ミュージックフェスティバル Vol4」と名称を変えて復活したいとの協力依頼があり、共催した。
- ・県内高校吹奏楽部や大学から選抜された部員が合宿形式で練習を積んで定期演奏会を行う『スーパーハイスクールプラス演奏会』は29年度も共催し、若い世代の芸術文化活動への参加を促進した。
- ＜共催事業＞
 - ・軽音楽:「松任谷由実コンサート 宇宙図書館 2016-2017」(大ホール)(3000人※2回公演)
「高知ミュージックフェスティバル Vol.4」(大ホール)(600人)
 - ・演劇:「舞台『里見八犬伝』」(大ホール)(1500人)
『人間風車』高知公演」(大ホール)(1000人)
 - ・吹奏楽:「ブラスト!ミュージック・オブ・ディズニー」(大ホール)(1500人)
 - ・器楽:「牛田智大ピアノ・リサイタル」(大ホール)(600人)
 - ・吹奏楽:「第13回スーパーハイスクールプラス」(大ホール)(800人)
- ・室戸市のホールに出向き、地元有志30人を対象に舞台技術の講習会を5日間行った。
- ・高知県文化施設協議会で、長崎チトセピアホールの出口館長を招き「事業費ゼロでの自主事業企画」と題するアートマネジメント講座を開いた。
- ・「県民が選ぶ映画ベストテン」上映会は、田野町、大月町、四万十市、グリーンホールと合わせて県域東部・中部・西部の4会場で開催し、集客や当日運営の実践を積んだ。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・共催事業は昨年度から5本減の7本で、入場者は4,800人弱減り9,000人となったものの、県民が質の高い公演等を鑑賞する機会を提供し、県民の文化活動への参加を促進したことが認められる。 ・団体等との連携・協力により、児童生徒に対して質の高い芸術文化に触れる機会を提供したことが認められる。 ・研修を開催し、また、事業を連携して実施することで、地域のホール運営の専門性向上に努めたことが認められる。

その他

評価項目

(1) 社会的責任

- ・法令等の遵守
- ・個人情報
- ・情報公開の状況

状況説明

- ・条例や内規等に基づく運営管理業務を行い、『同件事例には同じ対応』を心掛けた。
- ・運営管理を始めて3年がたち、平等でぶれることの無い判断基準が確立できてきた。
- ・個人情報保護に関しては、平成26年4月1日から、利用者の個人情報を扱う受付管理システムをインターネット環境から遮断したほか、来場のお客様の事務所内入場可能区域も受付カウンターまでとし、事務所が開いている間は必ずスタッフが駐在することで書類等を守っている。
- ・事業部門のパソコンはネット環境にあるが、ウィルス感染対策として本社から管理されたUSBメモリー以外接続できない設定とした。

評価	理由
B	適切な管理運営がされたと認められる。

評価項目

(2) 利用実績

利用実績の状況:利用状況の分析

状況説明

区分		26年度	27年度	28年度	29年度	前年度比
オレンジホール (大ホール)	開館日数	341日	314日	340日	339日	△1 H27は吊物更新工事に伴う閉館があった
	利用日数	226日	225日	246日	228日	△18
	利用率	66.3%	71.7%	72.4%	67.3%	△5.1
	利用件数	166件	165件	193件	174件	△19
	入場者数	191,320人	182,090人	206,250人	189,217人	△17,033
グリーンホール (小ホール)	開館日数	342日	325日	334日	342日	8 H27は吊物更新工事に伴う閉館があった
	利用日数	228日	235日	245日	248日	3
	利用率	66.7%	72.3%	73.4%	72.5%	△0.9
	利用件数	206件	208件	203件	215件	12
	入場者数	49,393人	48,440人	54,740人	54,505人	△235
多目的室	延べ開館日数	3,949日	3,960日	3,949日	3,949日	
	延べ利用日数	1,951日	2,278日	2,443日	2,502日	59
	延べ利用率	49.4%	57.5%	61.9%	63.4%	1.5
	利用人数	71,533人	81,778人	85,162人	95,952人	10,790

評価	理由
A	多目的室は利用促進の取り組み成果により利用が増えており、適正な管理運営がされたと認められる。

<p>評価項目</p> <p>(3) 収支の状況</p> <p>経営努力:収入増加の取り組み・経費削減の取り組み</p>
--

状況説明
<ul style="list-style-type: none"> ・収入の合計は1億4千万円を超え前年比113%となり、自主財源率も58%と過去4年間最高の数字となった。 ・自主文化事業の追加開催および告知のメディア展開などから鑑賞事業の入場料収入が約4,150万円となり、前年度に比べ1,700万円増収となった。 ・予算を上回った収入を原資に、新たな自主事業を実施した。

評価	理由
A	多目的室の活用促進等の経営努力を行い、予算を上回った収入を原資に新たな自主事業を実施するなど、適正な管理運営がされたと認められる。

総合評価

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の芸術文化活動の拠点施設として、利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、その利用を促進した。 ・幅広いジャンルの自主事業を行い、自主事業の入場者数は目標に対し約120%、前年度比では104%の実績であった。 ・児童生徒に対してワークショップを行い、質の高い芸術文化に触れる機会を提供した。 <p>上記により、要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされたと認められる。</p>

評価基準

- 「A」 要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた。
- 「B」 概ね要求水準どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた。
- 「C」 要求水準に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要。
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえ、大いに改善を要する。